

記入例

様式第2号（第5条関係）

該当する箇所に「○」印を入れてください。

耐震改修計画書 [新規 変更]

申請者氏名		三原 太郎							
診断法		<input type="checkbox"/> 一般診断法 <input checked="" type="checkbox"/> 方法1 <input type="checkbox"/> 方法2 <input type="checkbox"/> 精密診断法 <input type="checkbox"/> 精密診断法1（保有耐力診断法） <input type="checkbox"/> 精密診断法2（保有水平耐力計算・限界耐力計算・時刻歴応答計算）							
診断時	上部構造点 （最小値）	階	方向	強さP （kN）	配置などによる低減係数E	劣化度 D	保有する耐力 Pd（kN）	必要耐力 Qr （kN）	上部構造 評点
	0.40	2	X						
			Y						
		1	X						
Y									
耐震改修計画の概要	上部構造点 （最小値）	階	方向	強さP （kN）	配置などによる低減係数E	劣化度 D	保有する耐力 Pd（kN）	必要耐力 Qr （kN）	上部構造 評点
	1.20	2	X						
			Y						
		1	X						
			Y						
	強さPに関する措置								
配置などによる低減係数Eに関する措置									
劣化度Dに関する措置									
地盤・基礎に関する措置									
その他の措置									
改修工事費用 （予定）	総額：A+B		補助対象工事費：A		補助対象外工事費：B				
	4,000,000円		2,000,000円		2,000,000円				
備考									

該当する箇所に「■」印を入れてください。

一般診断法による場合は、各数値を記載してください。
精密診断法の場合は、判定に係る数値（例：精密診断法1においては、「保有する耐力の算定」「判定」）を別紙添付してください。

一般診断法による場合は、各数値を記載してください。
精密診断法の場合は、判定に係る数値（例：精密診断法1においては、「保有する耐力の算定」「判定」）を別紙添付してください。

一般診断法による場合は、各数値に対する耐震改修後において耐震性を向上させるために講じる措置を記入してください。
精密診断法の場合は、耐震改修後において耐震性を向上させるために講じる措置を別紙添付してください。